

アーチエリーセンターで開かれた。クリニックは、福井国杉浦さんから3時間半みっちり

い、参加者が主審、副審線審を交代で担当した。参加者は同連盟の審判委員らの指導を受けながら、バレーボール

小学生バレーボールの全国大会が福井で開催される。審判

坂井市の丸岡運動公園「古城ドーム」で

夢に 向かって

若い世代に競技普及

らえるような環境をつくりたい」と夢を描く。

(本田優子)

★ ★ ★
ディスクゴルフは、ゴルフ

のボールの代わりにフライングディスクを使って、バスケット型の専用ゴルフに、何投で入れることができるかを競うスポーツ。

競技に出合ったのは市の地域振興課にいた2010年の夏だった。三国町安島の市海浜自然公園は、豊かな松林が広がり、多くの人が訪れる憩いの場だった。しかし、松枯

れの被害が深刻になり倒れたり切られたりする木が多くなって公園が様変わりしたことから、対策と新たな魅力づくりが急務となっていた。

スポーツの専門家からの「ディスクゴルフ競技のコースに適しているのでは」とのヒントで、日本フライングディスク協会の幹部に視察して

もらったことになった。その結果、木の生え具合や、海が近く景色が良いこと、広さが十分あることなどから「日本有数のコースになるのでは」との太鼓判が押され、整備が決まった。日本協会の監修で9ホールを設定し、11年4月にオープンした。

以来、自身も腕を磨いて、13年日本オープンのアマアドバンスで3位に入賞。今季からプロ登録し、今月30日に開かれる「第4回福井オープン」では、プロとして競技に参加する予定だ。

18年に本県で開催される「しあわせ元気国体」では坂井市開催のデモンストレーション競技にもなっている。課題は、若い世代に競技の魅力を知ってもらうことだ。そのため子ども会行事を通じて、柔らかい素材のディスクを使ったドッジボール形式の「ドッジビー」の普及にも努めている。

学生時代は陸上競技の短距離の選手。「ディスクが遠くまで飛んでいく浮遊感が魅力。現役時代に感じていたスタート直前の緊張感も味わえ、年をとっても取り組んでいける」とアピールする。

プロ登録をし、ディスクゴルフ競技の技術向上と普及に務める中田誠一郎さん＝坂井市海浜自然公園で



★
中田 誠一郎さん(50) 坂井市役所職員

市海浜自然公園

ディスクゴルフコースの「生みの親」

「長く続けられる競技に出会い、幸せに思う」。世界では米国を中心に700万人もの愛好家がいるといわれるディスクゴルフ。国内ではまだマイナーな競技だが、競技の裾野を広げようと奮闘している。坂井市役所職員として愛好家から絶賛される市内のコースの魅力をアピールしつつ、自分自身も腕を磨き「いつか外国の愛好家にも来てもらうような環境をつくりたい」と夢を描く。